

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver  
舞鶴こども療育センター等

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00	2.6
1.1 騒音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.37	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.52	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.05	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.05	3.0	0.20	
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.7</b>	0.35	<b>3.2</b>	1.00	2.7
2.1 室温制御				<b>3.2</b>	0.50	<b>3.4</b>	0.63	
1 室温				3.0	0.41	3.0	0.57	
2 発熱・冷却・温度制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		(窓システム)U=4.1/2.9 (外壁)U=0.78		4.0	0.28	4.0	0.43	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.31	-	-	
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.3</b>	0.25	<b>3.9</b>	1.00	3.4
3.1 昼光利用				<b>3.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率				2.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備		トップライト、ハイサイドライト、坪庭の採用		5.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				<b>4.0</b>	0.30	<b>5.0</b>	0.30	
1 眩光対策				-	-	-	-	
2 昼光制御		ブラインド及び庇の組み合わせ		4.0	1.00	5.0	1.00	
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.0</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00	4.0
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		内装全般にF☆☆☆☆を採用		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量				3.0	0.45	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	0.09	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.45	3.0	0.33	
4.3 運用管理				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.13	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	0.87	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.0</b>	0.40	<b>4.6</b>	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				<b>5.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観		教室天井高3.0m		5.0	0.13	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画		府内産木材の活用やインテリアパースによる内装色検討		5.0	0.87	5.0	0.50	
1.3 維持管理				<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		チェック項目の通り		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理機能の確保		チェック項目の通り(特定建築物には該当しない)		5.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.3</b>	0.31	-	-	3.3
2.1 耐震・免震				<b>3.8</b>	0.48	-	-	
1 耐震性		建築基準法に定められた1.25倍の耐震性能		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.19		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	チェック項目の通り	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29	3.2	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	3.4	0.50	
1	階高のゆとり	1階階高3.8m	4.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.20	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	屋外テラスの設置 ユーザー参加のWSを通じた設計プロセス	5.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建築物の熱負荷抑制		複層ガラスの採用	4.0	0.30		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.8	0.20		-	3.8
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.7	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電パネルの設置	5.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		家庭用ルームエアコンにはグリーン調達を採用	4.0	0.30		-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR換算値=16%	4.0				
集合住宅の評価			3.0	0.20		-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.50		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.63		-	3.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	製材、壁紙、ビニル床材	5.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	すべて府内産木材を利用	5.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	全面的にLGSを採用 OAフロアの採用	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン品の採用	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			1.7	0.40		-	
1	風害の抑制	リハビリ庭園の芝生化	1.0	0.67		-	
2	砂塵の抑制		5.0	0.05		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.27		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	